

事務事業評価シート

事務事業コード	031300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	統合型地理情報システム管理事業		所属名	企画推進部	情報政策課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	情報通信技術・ビッグデータの活用		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5301	情報通信技術・ビッグデータの活用				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	公開GISの情報数		5件	75件	運営方法	直営
	オープンデータ公開数		4件	40件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	統合型地理情報システム管理費		予算事業コード	01-02-01-12-05-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各課が保有する様々な情報や画像データ(土地利用、都市計画、道路、上下水道、河川、防災等の情報)
意図 (どのような状態 にするために)	デジタル化された地図上で情報を庁内共有や市民への公開を行うため
手段 (どうするのか)	地理情報システムの構築を行い運用する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	①統合型GISの運用 保守 ②公開型GISの構築	①統合型・公開型GI Sの運用保守	①統合型・公開型GI Sの運用保守	①統合型・公開型GI Sの運用保守	①統合型・公開型GI Sの運用保守	
	年度別実績	①統合型GISの保守 管理とネットワーク強 靱化事業への対応作業 を行った。 ②公開型GISの構築 を行った。(H29.2運 用開始)	①統合型・公開型GI Sの保守管理を行った。	①統合型・公開型GI Sの保守管理を行った。	①統合型・公開型GI Sの保守管理を行った。	①統合型・公開型GI Sの保守管理を行った。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,542	13,223	13,662	13,306	13,304	
	直接経費 A	11,376	11,759	12,213	11,868	11,890	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,376	11,759	12,213	11,868	11,890		
人件費 B	2,166	1,464	1,449	1,438	1,414		
職員数の 内訳	正規職員	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	統合型・公開型GISシステムの構築進捗率	%	目標	100	0	0	0	0	
		実績		100	0	0	0	0		
	(指標の説明) 統合型GISの調達、システム構築作業に対する進捗状況。									
	2	統合型・公開型システムの稼働率	%	目標	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	
実績		100		100	100	100	100			
(指標の説明) 統合型・公開型GISシステムの計画停止作業を除く稼働率。										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026</p> <p>【10次総の施策体系】5401</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 統合型・公開型GISを安定的に稼働させるため、保守管理など必要な措置を講ずる。</p> <p>【事業の成果】 (1)各課が保有する地理情報の共有化による導入・更新経費の削減、業務の効率化を図れた。 (2)市民へ公開可能な地理情報を積極的に公開することにより、市民サービスの向上を図れた。 平成28年度：49 平成29年度：54 平成30年度：55 令和元年度：68 令和2年度：72</p> <p>【今後の課題・方向性】 庁内事務の効率化と市民サービスの向上を勘案した場合、当該システムの継続的稼働は必要であると考える。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	統合型・公開型GISシステムの構築進捗率	100%				
	2	統合型・公開型システムの稼働率	100%	100%	100%	100%	100%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初の計画どおり事務事業は進捗したため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	年度目標通りの成果を得たため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>システムの有効活用を促進するため、庁内での保有情報のデータ化を促進するとともに、データの速やかな最新化を図っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	031400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業		所属名	企画推進部	情報政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	情報通信技術・ビッグデータの活用		根拠法令、根拠計画等	
施策	5301	情報通信技術・ビッグデータの活用				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	公開GISの情報数		5件	75件	運営方法	その他
	オープンデータ公開数		4件	40件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費		予算事業コード	01-02-01-12-06-04	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各自治体が保有する情報システムの調達・維持・管理について
意図 (どのような状態にするために)	業務や情報システムの標準化、共同化による経費削減のほか、運用上の安全性の確保や人材育成等に資するため
手段 (どうするのか)	県内自治体で相互に連携・共同した取組を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績	①電子申請システムの構築完了(H29.3) ②行政イントラシステムの構築完了(H28.12) ③自治体セキュリティクラウドの構築完了(H29.3) ④情報セキュリティ研修等(3回)	①自治体クラウドの調査研究 ②電子申請システムにクレジット決済追加、校務支援システム導入 ③インターネット回線の共同利用 ④職員研修(5回) ⑤小中学校のネットワーク分離を完了	①自治体クラウド導入に向けた調査研究 ②共同化システムの運用 ③自治体セキュリティクラウドの運用 ④各種研修の実施(3回) ⑤学校業務支援システムの運用開始	①共同利用可能システムの調査研究 ②共同化システムの運用(電子申請・行政イントラ) ③自治体セキュリティクラウドの運用 ④各種研修の実施 ⑤学校業務支援システムの運用開始
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	4,756	13,075	13,055	13,267	13,126
	直接経費 A	3,312	12,343	12,331	12,548	12,419
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	3,312	12,343	12,331	12,548	12,419	
人件費 B	1,444	732	724	719	707	
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	自治体クラウド構築に向けた作業進捗	%	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	25	50	75	100
2	職員研修会の実施回数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	5	3	3	3
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026</p> <p>【10次総の施策体系】5401</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P34(企019)</p> <p>【事業の概要】 鳥取県と県内市町村が業務や情報システムの標準化や経費削減、情報システムの運用上の安全性の確保等を共同で取り組むための組織「鳥取県自治体ICT共同化推進協議会」に対する負担金。</p> <p>【事業の成果】 (1) 事務局運用体制の強化のため鳥取県への事務委託の実施 (2) 共同化システム(行政イントラシステム、電子申請システム、学校業務支援システム)の運用 (3) 自治体セキュリティクラウド、インターネット回線の共同利用 (4) 情報担当課職員研修会の実施 (5) 新たな共同化に向けた検討 平成30年度 12,331千円 令和元年度 12,548千円 令和2年度 12,419千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 情報システムの運用等の共同利用(クラウド化)は、効率的な情報システム運用の手法の一つとして有効であることから、継続的な推進が必要であると考えている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	自治体クラウド構築に向けた作業進捗		100%	100%	100%	100%
	2	職員研修会の実施回数	100%	167%	100%	100%	100%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初計画どおり事務事業が遂行できたため。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	概ね年度目標どおりの成果を得たため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

本市の情報システム管理の現状や更新予定、共同化の有効性等を考慮し、国が進める自治体標準準拠システムへの移行を円滑に進めるため、継続して取り組んでいくこととする。

事務事業評価シート

事務事業コード	031500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	コンビニ交付関連事務事業		所属名	市民生活部 市民課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 令和2年度
	政策	03	情報通信技術・ビッグデータの活用		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5301	情報通信技術・ビッグデータの活用				
目標の 施策の	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	公開GISの情報数		5件	75件	運営方法	外部委託
	オープンデータ公開数		4件	40件	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	コンビニ交付関連事務費		予算事業コード	01-02-03-01-08-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市民及び鳥取市に本籍地があるもの
意図 (どのような状態にするために)	利便性の高い証明書発行サービスの提供、及び証明発行申請の分散化による庁舎窓口の混雑緩和を図る。
手段 (どうするか)	全国の主要コンビニエンスストアで、住民票の写し等の証明書を早朝夜間や休日に取得できる「コンビニ交付」を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①導入準備	平成29年度 ①運用開始 ②周知、広報	平成30年度 ①周知、広報	平成31年度 ①周知、広報	令和2年度 ①周知、広報
	年度別実績	①事業内容(発行対象証明書の種類、証明時間帯、運用形態等)の検討 ②システム事業者の選定及び導入	①6月より運用を開始 ②運用開始セレモニーや花のまつり・木のまつりなどのイベントでの周知、広報活動の実施、マイナンバーカード写真無料撮影キャンペーンの実施	①花のまつり、木のまつりなどのイベントでの周知、広報活動の実施 ②マイナンバーカード写真無料撮影キャンペーンの実施	①ホームページや新聞広告欄等を利用した周知、広報活動の実施 ②マイナンバーカード企業一括申請の実施	①ホームページやチラシ等を利用した周知、広報活動の実施 ②マイナンバーカード出張申請の実施
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	35,032	33,597	35,537	37,051	35,477
	直接経費 A	11,776	9,920	11,974	13,055	14,264
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,776	9,920	11,974	13,055	14,264	
人件費 B	23,256	23,677	23,563	23,996	21,213	
職員数の内訳	正規職員	2.41	2.44	2.42	2.74	3.00
	嘱託職員	1.41	1.40	1.44	0.90	0.00
	臨時職員	1.35	1.34	1.36	0.90	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		コンビニ交付件数	件	目標	0	1850	3300	4900	7000
	実績	0	1558	3414	5141	12157			
(指標の説明) 総交付件数の1.5%をコンビニ交付件数と見込む、平成28年度については、導入段階のため交付実績なし									
2		目標		0	0	0	0	0	0
	実績			0	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0	0
	実績			0	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】マイナンバーカード係 0857-30-8196</p> <p>【10次総の施策体系】5301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P45(市021) 12月補正・P10(市003)</p> <p>【事業の概要】 マイナンバーカードの普及にあわせ、コンビニ交付を推進することで市民サービスの向上を図る。</p> <p>【事業の成果】 1 住民の利便性向上 全国のコンビニで、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、戸籍の附票の写し、所得課税証明書の各種証明書が、夜間や休日でも取得できる。(おおよそ6時30分～23時取得可能、年末年始は休止) 2 窓口業務の効率化 証明発行窓口が分散されることにより、混雑緩和につながり、相談や案内を必要とする住民へのサービス向上が期待される。</p> <p style="text-align: center;"><コンビニ交付件数></p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>平成30年度</td><td>3,414件</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>5,141件</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>12,157件</td></tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 マイナンバーカードの普及と併せて、コンビニ交付が、引き続き多くの住民に利用されるよう周知・広報を継続的に実施する必要がある。</p>	平成30年度	3,414件	令和元年度	5,141件	令和2年度	12,157件
平成30年度	3,414件						
令和元年度	5,141件						
令和2年度	12,157件						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	コンビニ交付件数		84%	103%	105%	174%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業が実施されている。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	成果については、年度計画を大幅に上回る結果となった。今後もより多くの市民に利用されるよう周知・広報を継続的・積極的に実施します。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> より多くの市民に利用されるよう、周知広報を継続的・積極的に実施する。		